

黒住教青年連盟・宗忠神社奉賛会

バザーで被災地支援

岡山

黒住教青年連盟と宗忠神社奉賛会は23日、岡山市北区上中野の同神社で、氏子らが持ち寄った食品や衣類、雑貨などを販売し、収益金を東日本大震災の復興支援に充てるチャリティーバザーを開いた。

境内の武道館で、アイコンやハクサイのほかセーター、毛布、コップ、タオルなど数千点を主に数百円で販売。訪れた人々は目当ての品物を次々に買い求めていた。同市東区

多くの人でにぎわった、震災復興支援のチャリティーバザー



中川町、吉田千代治さん(74)は「今年の冬も寒そう。東北の人たち

の力になればうれしい」と話していた。

収益金は、復興支援

を続ける国際医療ボランティア・AMDA(本部・岡山市)を通じて被災地に贈るほか、AMDAの現地での活動資金にも充ててもらおう。

(舟越俊司)